

# 多摩市立図書館本館再構築基本構想 議論の素材／第三回 基本構想策定委員会議録(テーマ分類)

多摩市立図書館本館再構築基本構想  
策定委員会 会議録抜粋資料

日時：平成29年8月29日(月)18:10~21:04  
場所：多摩市役所 西会議室

<b>地域館・拠点館の利用について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの図書館もリタイアした年代や親子連れなど、利用者が多い。</li> <li>○拠点館と地域館がそれぞれに違いがあり、使われ方も違い、補い合っているように感じた。</li> <li>○関戸図書館や東寺方図書館の周辺地域は既成市街地で、全国平均とほぼ同じ人口年齢構成となっていて、バランス良くいろんな年齢層の方が利用している。</li> <li>○各学校から出ている夏期休業中の課題や二学期の調べ学習を把握してもらっている。夏休み中に、生徒が継続的に利用させていただいている。</li> <li>○聖ヶ丘図書館は高年齢層が多い地域で、利用者に現れているように感じた。</li> <li>○夏休み中ということもありお母さんが子どもに読み聞かせをしている姿も見られた。</li> <li>○図書館があることでショッピングエリアが活性化して、相乗効果が出るようになると良いのだが。</li> </ul>	<b>地域館・拠点館の資料配置とスペース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの図書館で、使い勝手をよく考えて本の配置が工夫されていることがわかった。子ども向けコーナーもスペースを確保してきちんと作られている。</li> <li>○本を減らして利用しやすい高さに配置したり、テーマ展示やコーナー展示をして利用者を引きつける工夫をしていた。</li> <li>○関戸図書館では、活動室を利用してボランティアであかちゃんおはなし会をやっている。マットや敷物などは持ち寄り、あかちゃんがおはなしを聞けるように工夫しているが、机があることで安全性に不安なことがあったことがある。</li> <li>○おはなしコーナーの利用と一般利用者との調整が難しいようだ。子どもがはしゃいだりする声と調べ物をなどをする利用者がバッティングしてしまう。</li> </ul> <p><b>中央館では</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多摩市で出版しているもので売れるものは販売すればよいと思う。中央館で販売コーナーが作れるとよいと思う。</li> </ul>	<b>地域館・拠点館の資料</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料が返却された図書館に配架されるしくみなので、利用者との関係性において、全体の蔵書バランスと資料管理をどうしていくか、今後の課題。</li> <li>○多摩市の貸出数は拠点館が多く、分散している。多摩市は、現状の拠点館と本館でニーズを押さえているからだろう。多摩市の図書館サービスは日本の上位にいて、地域館と拠点館でサービスがカバーできている。今後、中央館でどのようなサービスをしていくか。</li> </ul> <p><b>中央館の資料とサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これから創っていく新しい図書館で潜在的なニーズに応えていくことで、市民も気づいていないニーズに応えるのが中央図書館の役割。現状のサービスに隠れていてわからないものを燻りだしていく作業が重要だ。</li> <li>○市民活動機能の複合は、大学図書館で言えばラーニングコモンズのようなもので、そのような中央館ができるならよい。今は突飛に思うかもしれないが、あと10年すればあたりまえになるようなものを多摩市が先駆けてやることになる。</li> <li>○働き盛りの人への高度なレファレンスサービスができる中央館のイメージ。</li> </ul>	<b>ヒアリング・研修に参加して</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>(地域館の存続を考える4会ヒアリング)</li> <li>○今まで地域館廃止への反対に注力していたので、ヒアリングを受けたことで今後の地域館について考えるきっかけになったという感想もあった。</li> <li>(多摩市の社会教育を考える会ヒアリング)</li> <li>○中央図書館を複合にするという意見が出ていた。公民館的機能を取り込むとより良くなるかもしれないというふうに発展的にとらえればよいと思う。</li> <li>(多摩市図書館職員研修)</li> <li>○図書館員は経験豊富で、利用者と日常的に接して様々な要望を理解している。</li> <li>○一方で、今の多摩市の図書館に囚われているようを感じた。他自治体はどんなサービスをしているか、研究が必要だろう。将来的なことに考えを進めるべきだろう。</li> </ul>
<b>行政資料室の蔵書</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各課ごとの配置になり市職員に利用しやすいよう工夫している。</li> <li>○棚の上部から資料を除籍して明るくしたことだが、かつて12,000冊あった蔵書が9,900冊になった。</li> <li>○行政資料は大切なストックしてあればよいが。</li> <li>○市民活動資料もあるが、入口側に置いてあったものが奥へ移動した。新本館にも置いてほしい。</li> </ul>	<b>地域館・拠点館の違い、分館とは。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ざっくりと本館と分館でよいのではないかと思う。市民から見ると、永山図書館と東寺方図書館を利用するのに違いは無いのではないかと思う。基本構想では同じように分館として扱い、後から分けて考えてもよいのではないか。</li> <li>○多摩市図書館条例では、本館、分館、分室に分類されている。運営規則では、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館は、図書館奉仕の中心館</li> <li>・分館は、広域的な図書館奉仕を行う拠点館及び地域における日常的な図書館奉仕を行なう地域館</li> </ul> </li> <li>○拠点館の説明を補足すると、駅前にあり、他市の分館と比べても規模が大きい。開館時間も長く、蔵書規模も大きい。バスも集まるターミナルにあるので利用のされ方は違う。地域館と分けて考える必要はあるかと思う。</li> </ul> <p>○行動プログラムで、拠点館を充実させるかわりに、地域館は我慢するというプランにされて、都合よく使われたように思う。浦安市のように、大きな本館と小さな分館という運営もよいか考えて行く必要はあると思う。</p>	<b>運営と人員配置</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多摩市の職員数で常勤職員・嘱託職員などの分類があり、だんだん嘱託が増えているようだが、司書の人数はどうになっているか。</li> <li>○常勤職員における司書の割合は52.3%。嘱託職員の司書割合は100%。</li> <li>○常勤職員より嘱託職員に司書が多いということになっている。</li> <li>○多摩市の職員の司書割合は全国平均では平均的だが、専門的な正規職員の採用や職員をどう動かしていくか、基本構想で検討する必要があると考える。</li> </ul> <p><b>組織について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○組織というものは、予算と人があって社会活動や営利活動を行う。組織を維持するにはランニングコストが必要で、活動をするためというよりランニングコストを維持するために収入を得ることを考えることになりがちだ。</li> <li>○一度御破算にして、どういう目的で何をやるべきか、逆転の発想で考えるとイメージが出てくる。</li> <li>○行政でもそういう検討をする必要があるように思う。</li> <li>○組織そのものの見直しが必要になってきている。</li> </ul>	<b>現状と課題チャートの構成について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○チャートの「図書館員」のところは「人」に加えて「組織」を追加すればよいかと思う。</li> <li>○構成主義になっていないか。サービスを支えるための要素には、資料・人・組織・市民などさまざまなものがある。全てがうまくいってサービスとして浮き上がる。このチャートに入らずに残ってしまう項目があるかもしれない。</li> <li>○考える順として、第一に本館の機能について議論するべきで、それから地域館と拠点館がどうあるべきか、あるいは統合できるか議論するのが正しいのではないか。</li> <li>○この度の基本構想では「私達の身近な図書館から考えてほしい」という声があったので、現状の課題整理は、想像のなかの図書館ではなく、普段使っている図書館から今までよいか順に考えるべきだろう。多摩市ならではの順番だと思う。</li> <li>○今まで地域館を使ってきたものとしては、地域館から見て中央館をどうしてほしいというほうが考えやすい。</li> <li>○ヒアリングでもいま使っている図書館への思いや要望がたくさん出ている。地域館でこういうことをやっていたけれど、中央館ではこんなことをやってほしいか考えた方が、私はまとめやすいように思う。</li> <li>○本館再構築基本構想なので、理想的な図書館というのはどういうものか、まず中央館から考えたい。併行して地域館・拠点館はどういう機能となるか考えればよいのではないか。</li> <li>○チャートは、全域奉仕を上にして順序を変えるとよいと思う。</li> </ul>
<b>地域館のリニューアルについて</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東寺方の床のフローリングは最近では高価で使えないハイケットフロアで、サンダーをかけてクリア塗装をかけると見違えるほど綺麗になる。</li> <li>○聖ヶ丘はコミュニティセンターとの複合で床はカーペットタイル、子どもも開架での音の問題について視察中に話題になったが、木材が吸音している。違う材料であればもっと反響しているだろう。壁も吸音できる材料に変えると効果がある。</li> </ul>		<p><b>傍聴者用資料の取り扱い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○傍聴者を20名と定員を定めているが、その方の持ち帰りは可能とする。</li> <li>○小さな訂正がある場合は、ホームページや図書館での閲覧資料を確定版とするので、資料は委員会を傍聴する参考として使用していただきたい。</li> <li>○大きな訂正がある場合は回収することもある。</li> </ul>	